

# 1点差守った！今永 170球熱投 拓大 0 - 1 駒大☆

## 3回戦

2014年度春季リーグ

第1週 4月9日

2勝1敗

|    |     |     |     |   |
|----|-----|-----|-----|---|
| 拓大 | 000 | 000 | 000 | 0 |
| 駒大 | 000 | 010 | 00x | 1 |

|         | 打安点  |
|---------|------|
| (7) 齋藤  | 311  |
| (4) 前田  | 100  |
| (6) 下川  | 400  |
| (8) 江越  | 300  |
| (2) 木下  | 300  |
| DH 米満   | 300  |
| (3) 巻木  | 310  |
| (9) 伊藤修 | 300  |
| (5) 砂川  | 310  |
| 計       | 2631 |

▽二塁打=砂川、齋藤

| 回   | 打安責    |
|-----|--------|
| ○今永 | 9 4050 |



齋藤は5回に貴重な適時二塁打を放った

2試合連続完封を果たした今永



今永自身も「そういう戦い方で来ると思っていた。自信のあるストレートで勝負すれば打ち損じてくれると思った」と話した。言葉通り奪三振数はわずか1だったが、打たせて取る投球で粘り強く171球を投げ、被安打を5に抑え完封した。

第3戦目でマウンドに登ったのは1戦目でも先発を任された今永だった。1戦目で10奪三振を奪われ、完全に抑えられた相手は攻め方を一転。前回攻略できなかったスライダーをカットする場面が多く見られた。

1勝1敗で迎えた3戦目。この試合の勝敗が今後の戦いで優勝争いに加わるかどうかがかかった大事な一戦。打線は苦しんだが、今永昇太(経3)が粘り強く171球を投げきり、勝利。優勝への第一歩を踏み出した。

打線は沈黙が続いたが、

5回2死から、砂川哲平(法4)が左中間二塁打を打つと、続く斎藤導久(法4)が右適時二塁打を打ち、大きな1点をもぎ取った。

昨年のリーグ戦の経験で、初戦の勝敗が優勝争いに加わるか、残留をかけた争いになるか二極化することをエースは知っている。試合後「今日は勝てて良かった。まだ上を見ることができる。」と安堵の声を漏らした。

打線不振や抑え投手の不具合など課題はあるが、悲願の優勝へと一歩近づいた。

文 平田サリナ  
写真 山本春熙



#7 米満一聖

スーパールーキーが登場した。打率3割の結果を引っ提げオープン戦のままの好調で迎えた開幕スタメン、試合前のベンチ前ではにこやかな表情の米満の姿があった。しかし試合が始まるとその表情は一変、「緊張はしたが楽しく入れた」と大学初打席をヒットで迎えると、その勢いは止まらない。終わってみれば3安打の猛打賞でチームの開幕大勝に貢献した。

敦賀気比高では2番打者。「高校の頃は打席に入る前、緊張するとか考えず自信もってはいれた打席がこんな緊張するんだと思った。そういう雰囲気の中でできたってことは自分の中でプラスになったと思う」と大学野球への視線を語る。米満の大学野球生活はまだまだ始まったばかりだ。(五十嵐秋音)

# ROOKIES